公表

事業所における自己評価総括表【児童発達支援】

○事業所名	聖隷こども発達支援センターからみあ		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 2日		2024年 9月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58名	(回答者数) 52名
○従業者評価実施期間	2024年 9月 17日		2024年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達段階別のクラスを編成することで、一人ひとりの課題に合わせた活動内容を設定している。また少人数クラスや、午後グループなど、ニーズに合わせた形で療育の提供を実施している。	少人数クラスや、午後グループ等、課題に合わせた設定活動の実施。活動内容によっては2クラス合同で取り組み、大きな集団での経験や異年齢交流を実施し、お子さんの特性に配慮しながら様々な経験が積めるようにしている。	発達に応じた活動内容が適切に設定されるよう、職員勉強会を実施している。合同活動についてもお子さんの特性やつきたい力を踏まえてブラッシュアップしていく。
2	本人だけでなく、きょうだい児を含む家族の状況や、多様な子育てスタイルを把握し、施設内や関係機関と共有している。また、保護者同士が交流できる場を設定し、不安の軽減や仲間作りのサポートをしている。	座談会については「父親」「母親」「同じ地区」「就学」について、様々なテーマを設定して、保護者が自ら選択して参加できるようにしている。また、きょうだいが参加したり、きょうだい同士が交流出来る場を設定している。	保護者のニーズを聞き取り座談会のテーマを設定する。正しい情報提供ができるよう、地域や市町と連携して施設として学び、情報収集する。きょうだい支援に関しては、昨年度好評であった行事を継続し、仲間づくりにつなげる。
3	行事や勉強会、地域の幼稚園との合同防災訓練などを通じて、地域との連携を深め、つながりや交流を促進している。	園庭開放や近隣大学のボランティア・実習の受け入れを通じて、障害支援や施設への理解を深め、関係構築に取り組んでいる。	ニーズに即した支援を展開できるよう、園庭開放での相談機能を強化していく。地域の方に向けてアンケート等の実施から、地域住民の方の「声」を聞くなど地域のニーズを把握する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の内容や状況を保護者に伝えきれていない。非常災害に備えた取り組みや、家庭支援プログラム（ペアレントプログラム等）、事故発生時の流れなどについても発信する機会は少ない。	保護者に療育の様子を見ていただく機会が少ないことや、送迎時や面談時に様子をお伝えしているが、必要な情報を分かりやすく伝える力は不足していると思われる。また、情報発信の弱さもある。	必要な情報を分かりやすく伝える力については、職員勉強会等で学ぶ機会を設ける。また、ご希望の際には療育での様子を職員と共に見学できる場もご用意できることを保護者にお伝えする。現在、アプリを使用して保護者におたより等発信している。より見やすく伝わりやすい内容にするための工夫をしたり、見ていただけるように保護者にお伝えしたりして、アプリを情報共有のツールとして有効に活用していただけるようにする。
2	活動内容や利用の人数によってはスペースの確保が十分でない時がある。長期休暇中は放課後等デイサービス事業も午前中より部屋を使用するため施設全体としてスペースの確保に苦慮している現状がある。	園庭や廊下、使用していない部屋などを、計画的、効率的に使用する工夫は必要。活動計画や準備、打合せなどの時間が十分にとれず、スペースを上手く使えていないことがある。	スペースの確保については、職員間でアイデアを出し合い、今ある空間を有効かつ計画的に活用できるようにする。長期休み中は、室内運動遊びの部屋は使用できなくなるが、出来ることが限られることのないよう、事前に活動場所を含めた活動計画を立てて実施する。
3	待機中のお子さんが一定数おり、定期的に状況確認のご連絡は行っているものの、それ以外のフォロー体制が十分とはいえない。	時期によっては待機期間が長期化することがあるため、見通しを持った受け入れ体制を整え、安心して次のステージへステップアップできる環境を構築する必要がある。	待機中のお子さんに対しては、園庭開放の案内などサポートの工夫を検討する。また、受け入れ体制やステップアップの流れについては、年間の見通しを立てながら計画的に進めていく。